

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter



Vol.14
2025.8.1

2024-2025 地区活動報告書

<https://rid2500.jp>



「ロータリーに参画しましょう！
誰かのために、あなたのために、自分のために」

CONTENTS

ガバナーメッセージ	3
写真で見る1年間の軌跡	4
インターアクト地区大会開催報告	16
ローターアクト地区大会報告書	17
各ガバナー補佐活動報告	20
各委員会報告	28
一年間の行動表	52
新入会員の紹介	56
ロータリー財団寄付者報告	57
物故会員	57
例会出席率&会員数推移	58



ガバナーメッセージ

2024-2025年度
国際ロータリー 第2500地区

ガバナー **小 谷 典 之**
(帯広西 RC)

6月21日から5日間にわたるカナダカルガリー国際大会を終え、2024-25年度ガバナーとしての職務を全うすることができ、安堵しております。

今年度の5つの地区活動方針、その筆頭に「女性会員ゼロクラブゼロを目指しましょう」と掲げさせていただきました。昨年6月末女性会員ゼロクラブは64クラブ中23クラブ(36%)でしたが、今年度6月末時点で15クラブ(24%)まで減少し、女性会員数も130人から154人と24人増加しました。今後も女性会員入会予定クラブがあると報告を受けています。ガバナー公式訪問時の意見交換会では会員増強をテーマにクラブ会員の皆さんからさまざまなご意見をいただき、クラブ会長が中心となって会員全員で取り組むことが必須との覚悟からの成し遂げられた結果であろうと確信しております。

今年度から女性会員のみで構成された母子の健康増進委員会を設立しました。小田衣代第6分区ガバナー補佐(2027~28年度ガバナー)を委員長として、各分区の女性会員12名で生理の貧困に関する調査を行い、各地の中学校、高等学校に無償で生理用ナプキンを配布しました。小生も泌尿器科医の立場から利尻町鬼脇中学校、稚内大谷高校など14校で「性感染症と避妊の大切さ」をテーマに講演会を開催し、本題に入る前にポリオ根絶活動を含めた奉仕活動を中心に国際ロータリーに関する情報も提供しました。地元マスコミに取材を受け、ロータリーの公共イメージ向上に貢献できたことと思います。佐渡年度においてもこれらの活動は継続される予定ですので、今後も女性会員の活躍する場を提供し、女性会員増強に一役買っていたくことを期待しております。

2024~25年度の地区スローガンは「ロータリーに参画しましょう!誰かのために、あなたのために、自分のために」です。今年度、ご協力いただきましたパストガバナー、8名のガバナー補佐、地区役員、委員長の皆様、そして64クラブの会長幹事をはじめ、すべてのロータリアンの皆様、大変お世話になりました。心より感謝いたします。

佐渡正幸ガバナーは重点目標に会員数2500人達成という具体的な数値を掲げられました。会員増強→ファンデレイジング→奉仕活動充実→公共イメージ向上→会員増強という好循環を継続していただき、国際ロータリー第2500地区がますます発展することをご祈念しております。

最後に3年間支えていただきました大友広明地区幹事をはじめ帯広西ロータリークラブの皆さん、ガバナーという素晴らしい感動、人生最高の体験をさせていただき、本当にありがとうございました。帯広西ロータリークラブがさらに大好きになりました。これから地区、クラブに対し、微力ながら感謝と恩返しをさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

写真で見る 1 年間の軌跡

地区大会

2024年10月12日(土)
2024年10月13日(日)





地区チームラーニングセミナー 2025年3月15日(土)



会長エレクトラーニングセミナー 2025年4月12日(土)



クラブリーダーシップラーニングセミナー 2025年4月13日(日)



国際大会 (カルガリー)

2025年6月21日(土)
2025年6月26日(木)



ガバナー公式訪問

豊富ロータリークラブ



2024年7月8日

稚内南ロータリークラブ



2024年7月8日

利尻ロータリークラブ



2024年7月9日

利尻島ロータリークラブ



2024年7月10日

礼文ロータリークラブ



2024年7月10日

稚内ロータリークラブ



2024年7月11日

紋別港ロータリークラブ



2024年7月16日

滝上ロータリークラブ



2024年7月17日

ガバナー公式訪問

北見ロータリークラブ



2024年7月18日

北見西ロータリークラブ



2024年7月18日

北見東ロータリークラブ



2024年7月18日

厚岸ロータリークラブ



2024年7月22日

浜中ロータリークラブ



2024年7月23日

根室ロータリークラブ



2024年7月23日

斜里ロータリークラブ



2024年7月24日

清里ロータリークラブ



2024年7月24日

ガバナー公式訪問

網走西ロータリークラブ



2024年7月25日

網走ロータリークラブ



2024年7月25日

雄武ロータリークラブ



2024年7月26日

留辺蘂ロータリークラブ



2024年7月26日

士別ロータリークラブ



2024年7月29日

中頓別ロータリークラブ



2024年7月29日

名寄ロータリークラブ



2024年7月30日

枝幸ロータリークラブ



2024年7月31日

ガバナー公式訪問

美深ロータリークラブ



2024年8月1日

遠軽ロータリークラブ



2024年8月1日

紋別ロータリークラブ



2024年8月2日

音別ロータリークラブ



2024年8月5日

釧路西ロータリークラブ



2024年8月5日

釧路東ロータリークラブ



2024年8月6日

釧路北ロータリークラブ



2024年8月7日

弟子屈ロータリークラブ



2024年8月7日

ガバナー公式訪問

美幌ロータリークラブ



2024年8月8日

中標津ロータリークラブ



2024年8月8日

広尾ロータリークラブ



2024年8月19日

根室西ロータリークラブ



2024年8月21日

釧路ベイロータリークラブ



2024年8月21日

釧路ロータリークラブ



2024年8月22日

白糠ロータリークラブ



2024年8月23日

釧路南ロータリークラブ



2024年8月23日

ガバナー公式訪問

美瑛ロータリークラブ



2024年8月26日

旭川南ロータリークラブ



2024年8月26日

旭川空港ロータリークラブ



2024年8月27日

旭川西ロータリークラブ



2024年8月27日

旭川北ロータリークラブ



2024年8月28日

上川ロータリークラブ



2024年8月29日

旭川ロータリークラブ



2024年8月30日

北海道2500Eロータリークラブ



2024年8月30日

ガバナー公式訪問

帯広南ロータリークラブ



2024年9月2日

芽室ロータリークラブ



2024年9月3日

帯広東ロータリークラブ



2024年9月3日

音更ロータリークラブ



2024年9月4日

帯広ロータリークラブ



2024年9月4日

旭川モーニングロータリークラブ



2024年9月5日

旭川東北ロータリークラブ



2024年9月5日

旭川東ロータリークラブ



2024年9月5日

ガバナー公式訪問

帯広北ロータリークラブ



2024年9月6日

興部ロータリークラブ



2024年9月9日

上士幌ロータリークラブ



2024年9月11日

足寄ロータリークラブ



2024年9月12日

富良野ロータリークラブ



2024年9月19日

清水ロータリークラブ



2024年9月26日

帯広西ロータリークラブ



2024年9月26日

国際ロータリー第2500地区 インターアクト地区大会開催報告

インターアクト委員会 委員長 曾 我 浩 昌
(帯広北RC)

国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会が帯広大谷高校インターアクトクラブをホストクラブ、帯広北ロータリークラブをホストスポンサークラブとして、大会テーマ「地域で輝く人材へ～彩り豊かな個性を育もう!～」のもと、5月10、11日に帯広のとかちプラザを会場に開催いたしました。

また参加者は、地区内で現在11校のインターアクトクラブが活動していますが、ホストクラブを含め生徒・顧問含め64名の参加となりました。昨年コロナで中断していた大会が久しぶりに開催することになり、2年連続での帯広での開催となりましたが継続して地区大会を開催出来たことにホッとしております。

大会初日は開会式に引き続き、短期海外研修の報告、各校の活動発表、上士幌町役場保健福祉課健康増進担当 保健師の松下 恵様の「人と人とのつながりから優しさあふれる地域をつくる」をテーマとした記念講演が行われ、その後グループディスカッション、また同時並行で顧問会議を開催し、夕方からはクイズ等も交えた懇親会が行いメンバー同士の交流を重ねました。2日目はグ

ループディスカッションの内容発表、ローターアクトクラブの活動紹介をローターアクト次年度地区代表の富良野ローターアクトクラブ西田 脩人様に行っていただき、その後閉会式を行いました。

2500地区の広大なエリアの中のそれぞれの地域で活動しているインターアクトの仲間達が1年に一度集まるこの地区大会ですが、台湾で行った短期海外研修に参加いただいた各インターアクトクラブのメンバーを中心に、昨年よりも打ち解けるのが早く活発なコミュニケーションが図れていたことが印象的でした。また若者らしい発想力を発揮していたことに感銘を受けました

小谷ガバナーや地区インターアクト委員会をはじめとする2500地区の皆様、各インターアクトクラブの顧問の先生、スポンサークラブの皆様のご協力もあり無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

来年度も地区のインターアクト委員会で地区大会を計画しております。まだ開催地は確定していませんが、委員長の立場でインターアクトクラブメンバーの情報交換・交流・親睦の機会としての地区大会を開催できるよう取り組んで参ります。

ありがとうございました。



ローターアクト地区大会の様子を お知らせいたします

.....

国際ロータリー第2500地区ローターアクト 第50回地区大会報告書

日 時: 2025年6月7日(土)13:00～
会 場: コミュニティプラザ パラボ(北見市)
ホスト: 北見ローターアクトクラブ
大会テーマ: 「和衷協同」
参加人数: 64名 (内ローターアクター43名)

<当日プログラム>

13:00～ 開会式(パラボ6階ホール)



14:00～ プログラム(パラボ5階催事場)

- ・北見市地域おこし協力隊 カーリングサポート隊 物井彩雲 様 講演
- ・フロアカーリング体験



16:30～ 表彰式・卒業式(パラボ6階ホール)

・会員増員、会員純増クラブ表彰

	1位	2位	3位
会員増員	釧路北RAC(5人)	北見RAC(4人) 富良野RAC(4人)	帯広RAC(3人)
会員純増	釧路北RAC(4人)	北見RAC(3人)	網走RAC(2人)

・優秀例会クラブ表彰

第一ブロック	第二ブロック	第三ブロック
富良野RAC 「bonchi fes in FURANO」	網走RAC 「さんご草ぬりえ展示例会 ～未来に繋ぐさんご草～」	帯広RAC 「モルック例会」

・永年会員表彰:美幌RAC 川村 修平会員

・卒業式(動画放映):富良野RAC 板垣 涼太 会員

17:00～ 閉会式

19:00～ 懇親会(ホテル黒部1階宴会場「大雪」)



<開催御礼>

国際ロータリー第2500地区ローターアクト第50回地区大会に多くの皆様にご参集いただきましたことを心より御礼申し上げます。

本大会では、北見市常呂町を拠点とするカーリングチーム「ロコ・ソラーレ」の活躍にちなみ、フロアカーリング体験をプログラムに組み込みました。地域おこし協力隊のカーリングサポート隊にもご協力をいただき、参加者の皆様にはチーム戦略を練りながら他クラブ・他地区のアクターやロータリアンとの交流を深めていただくとともに、北見の地域特色を体感していただくことができました。

第50回という記念すべき大会のホストを務めさせていただき、身の引き締まる思いでありましたが、参加者の皆様に有意義な時間をお過ごしいただけたものと存じます。本大会の開催にあたり、ご多用の中ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、日頃より温かいご支援をいただいております提唱ロータリークラブをはじめとする関係各位、そして地区内外からご参加いただきましたローターアクトの皆様に深く感謝申し上げます。

本来でしたらお伺いの上御礼を申し上げるべきですが、略儀ながら書面にて開催御礼のご挨拶とさせていただきます。

北見ローターアクトクラブ会長 加納 貢

ガバナー補佐・委員会 活動報告

1 年間を振り返って



第 1 分区ガバナー補佐

坂 野 泰 雄

(稚内南 RC)

時がたつのも早いもので、約2年前よりの補佐活動の終わりを告げました。

思い返せば、我々のクラブ補佐選考は会長経験者の終了順にと言う申し合わせがあり、早くから予定されておりましたが今になると漠然と役をこなしていたのではないかと反省をしています。

23年8月に入ると、第一回目の帯広での補佐会議初めて会うメンバーは地区役員を経験した時以来のそれぞれ個性的で一安心、しかし以降はズーム会議が多く勉強しなければ付いて行けない講習・・・みんな慣れているのか気になっております、そうこうしているうちにいよいよ各クラブ訪問・・・しかし、任期前の各クラブ協議会での間に於いてそれぞれのクラブ活動を見ていると独自活動あり、又町のカレンダーに事業がのっていたり、特色のあるクラブばかりで大変な刺激がありましたがどちらのクラブも会員増強の面では努力しているが人口減少ために難儀しているようです。

いよいよ公式訪問7月6日帯広中札内での打合せが終わり公式訪問開始、豊富・稚内南・利尻・利尻島・礼文・稚内・天塩 小谷ガバナーによる鬼脇中学校・南中・大谷の性の話を正しく伝える講演、我々一般人ではお話をするような話題ではないが、中学生・高校生が真剣に耳

を傾けている顔を見ているとこれからの時代に合った、やらなければならないことの一つなのでしょう、講演会にかかわったことに感謝・感謝、教育委員会の皆様ありがとうございます。

地区大会大きな出番があり出席していただいた各ロータリークラブを紹介、大きな声の返事に仲間意識が芽生え友情に感謝、やっつけてよかったな一実感。

新しい一年が開けて、残っているのはIMと3月の根室にてスタート。あいにく自分の、かけ持ってる稚内自衛隊入隊歓迎会と重なり欠席、2分区を除いて何とか全て回りました、道中は移動距離があるので妻と二人きりの訪問、しばらく旅行らしいことをしていないのでロータリーを理解してもらったのでひと安心、心強い仲間でもあります。IMは地区ごと実行委員長の前特色のある会合でロータリーを理解するのに随所に工夫され目から鱗が落ちる感でした、自分のIMも各地の名産をゲームに利用し盛り上がりを見せ終えることが出来ました。

約二年間補佐の期間を通じて気の置けない仲間が増えロータリーの楽しさを理解できるようになりました。6月で任期が終えて7月小谷ガバナーとのご苦労さん会、また仲間と逢える楽しさが一つ増えそうです。

1年間を振り返って



第2分区ガバナー補佐

猿谷 繁明
(名寄 RC)

小谷典之ガバナーの下、補佐としての役割を十分に果たしたとは言えませんが、

「人生は出逢いに始まり
出会いによって創られる」

の通り、帯広の地で一生の友にお会いすることが出来ました。これが、「私の宝」です。
有難うございます。



1 年を振り返って



第 3 分区ガバナー補佐

山 北 正 美

(旭川西 RC)

2023年8月にガバナー補佐の予定者になって直ぐに帯広に集合というメールが届いてからのガバナー補佐の活動が始まりました。それから毎月リアルかズームによる補佐会議が始まりました。兎に角実質22ヵ月という長いガバナー補佐の活動が始まりました。

予定者段階での財団補助金セミナー・PETS・DTTS・各クラブ協議会廻りが終わり、7月から本当の任期が始まりガバナー公式訪問、そして一息ついてからの帯広の地区大会とあつという間の時間が過ぎました。もう1年間働いたので残りはIMだけだなと思っていたらロータリー研究会への参加、他地区の地区大会の参加と次から次へと案内が入り色々勉強させて頂きました。

その後の年明けからは各分区で行われるIMに同期ガバナー補佐が集い情報交換しながら毎週土曜日は酔いつぶれる生活で私はその都度事故がおきてしまいましたが、このIM廻りが本当の意味での同期ガバナー補佐の友情が強くなったと思います。この素晴らしい習慣は今後も続けて欲しいと思います。

今後は同期ガバナー補佐会を立ち上げたので定期的に一緒に旅行に行ったり各分区廻りをしてロータリーの友情と親睦を図っていきます。

ガバナー補佐期間中の出来事では写真を掲載

してある様にアーチック会長と記念撮影をしたこと、又、カルガリーの国際大会でも次年度RI会長と記念撮影をちゃっかり行ったことは記憶に残っております。

また6月号のロータリーの友誌の「うちの子」に自慢の娘が掲載されたことは最高の思い出になっております。

最後に小谷ガバナーとは本当に何処に行っても夜中迄延々と飲みまくりました、けしてもう今日は帰ろうと小谷ガバナーは自分からは言わないのですよ。お互いもう年ですからお酒の飲み方には気を付けましょう。これからはパストになるのでくれぐれもお体ご自愛下さい。

この2年間、本当に楽しい時間を沢山のロータリーのメンバーと過ごすことが出来ました事を心から感謝致します。

皆様ありがとうございました。



1 年間を振り返って



第 4 分区ガバナー補佐

中 山 憲 一
(紋別港 RC)

ガバナー補佐を終えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

思えば一昨年、わがクラブよりガバナーを輩出し、ガバナー事務所を運営し、なお地区大会を開催する準備で会員が多忙を極めている最中、持ち回りとはいえ、当クラブより次年度ガバナー補佐として誰かを指名しなければならぬ、時の会長の辛い顔が思い出されます。「ガバナー補佐に補佐をつけるから」と懇願され、ガバナー補佐とはどんな役割を担うか特に考えるいとまもなく引き受けました。

最初の補佐会議は一昨年の地区大会の前日でした。その日は地区大会の役目で韓国訪問団の接待係として市内観光案内を務めておりました。途中抜けて会議に出席したのですが、うわのそらでさっぱり耳に入らず困ったものだと思います。早いながらのスタートでしたが、早いもので20か月過ぎガバナー補佐の役割を終えようとしております。

公式訪問のスタートは紋別港 RC からでした。4分区内各クラブでの「クラブ協議会」「公式訪問例会」を考えると不安でしたが、会長・幹事の方々の心くばりと協力により速やかに公式訪問例会を終えることが出来ました。各クラブがその町に合った事業、町の事業に共同参画をするなどクラブ運営がしっかりなされていること

を強く感じさせていただきました。

式典では紋別 RC 創立70周年と遠軽 RC 創立65周年に参加させていただきました。それぞれ個性あふれるすばらしい式典でした。「ロータリーに参画しましょう。誰かのために、自分のために」小谷ガバナーの地区テーマのもと、大変貴重な体験をすることが出来ました。

また、各分区の IM に参加させていただき、各地の IM を目の当たりにして勉強させていただきました。懇親会では楽しいひと時を過ごさせていただき、感謝を申し上げます。

終わりにあたり、小谷ガバナーを始め各分区のガバナー補佐の皆様には大変お世話になりました。また、4分区内会長・幹事、ロータリーメンバーの皆様のおかげで私の補佐としての仕事も無事終わります。さらに、紋別港 RC の会長・幹事、IM 実行委員長・幹事と会員皆様に感謝申し上げます。

ロータリアンの皆様のご健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

1 年間を振り返って



第 5 分区ガバナー補佐

松 浦 信 一
(北見西 RC)

今年度、小谷典之ガバナーのもと、第5分区のガバナー補佐として1年間、大変貴重な経験をさせていただきました。この任をお引き受けできたのも、ひとえに私の所属する北見西ロータリークラブの皆さまお一人おひとりの温かいご支援、ご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

活動は、小谷年度が始まる1年以上前、帯広で開催されたガバナー補佐会議への出席からスタートいたしました。緊張の面持ちで臨んだ初会合では、ガバナーを支える地区役員の皆さまや他分区のガバナー補佐の皆さまと顔を合わせ、地区方針や年間スケジュール、そして補佐としての職務についてレクチャーを受けました。最初は不安と緊張で押しつぶされそうでしたが、会議を重ねるごとに相談し合い、助け合い、友情を深めながら、ロータリーへの理解も少しずつ深めることができたことは、私にとって大きな学びとなりました。

いざ職務が始まると、最初の大きな関門が「クラブ協議会」でした。ガバナー補佐の役割として、RIのテーマや小谷ガバナーの方針をしっかりと伝えし、分区内の各クラブが1年間滞りなく活動できるよう見守っていく責務は、想像以上に緊張の連続でした。特に小谷ガバナーの公式訪問時には、各クラブの特徴や素晴らし

い点を正確にお伝えできるよう努めたことが、結果としてクラブ協議会の成功につながったのではないかと感じています。

おかげさまで公式訪問の際には、自然体で臨むことができ、訪問先のクラブの皆さまと親しく交流することができました。また、移動や待ち時間などの合間に、小谷ガバナーからロータリーに関する貴重なお話を伺えたことも、今となっては大きな財産です。

一方で、当クラブとして開催すべきインターシティミーティング(IM)の準備もありました。10名を超える新入会員を迎えた当クラブにとって、運営面に一抹の不安もありましたが、新旧会員がうまく融合し、協力して取り組んだ結果、納得のいく素晴らしいIMとなりました。

このように、多くの方々のお力添えをいただきながら、忙しくも充実した1年を過ごすことができました。来年度は一クラブ会員として、これまで支えてくださった皆さまに少しでも恩返しができるよう、精一杯努めてまいりたいと思います。

1年間、本当にありがとうございました。

1年間を振り返って



第6分区ガバナー補佐

小田 衣代
(帯広南 RC)

早いものでもう一年の月日が流れてしまいました。

各クラブの会長、幹事様はじめ会員皆様のご協力で何とか職責を果たすことができました。クラブ公式訪問は3回、クラブ協議会、ガバナー公式訪問と5回の訪問をさせていただきました。

クラブ公式訪問では好意と友情をもって温かく迎えていただき感謝申し上げます。また、IMの開催には皆様の協力のもと、素晴らしいものとなりました事、心より感謝申し上げます。

地域の他の団体との奉仕活動や青少年育成活動に力を入れ取り組んでいるクラブ、又、会員増強が思うように進まないなど苦悩を抱えながらも地域のニーズに沿った奉仕活動など特色あ

るクラブ運営に尽力されているクラブなど、魅力あるクラブへの活動も行い、一人ひとりがしっかりしたロータリーに対する考えを持っていると感じました。

他の分区のIMに参加したことも、大変勉強になりました。ロータリーの在り方への参考となり、多くを学ばせていただき、又、貴重な体験をさせていただきました。そしてまた楽しい一年でした。

最後に RI 第2500地区第6分区の各クラブの発展と会員皆様のご活躍を祈念いたしまして、退任の挨拶といたします。

1年を振り返って



第7分区ガバナー補佐

佐々木 勉

(釧路東 RC)

2024-2025年度 国際ロータリー第2500地区 第7分区のガバナー補佐を務めさせていただきました佐々木 勉です。皆様に支えられ、なんとか無事に任期を全うすることが出来ますことに、心より感謝申し上げます。

振り返れば、2023年8月26日に帯広で開催された「第1回ガバナー補佐研修会議」が始まりでした。「ガバナー補佐就任までの準備と職務」と題し、小谷ガバナー（当時はエレクト）から、ガバナー補佐としての心得や、実施しなければならないことなど、ご指導いただきながらも、新年度のスタートまでに準備しておかなければならない案件の多さや、その責任の重さに戸惑ったものであります。

特に、各クラブの次年度のためのクラブ協議会に出席することは、私にとって非常にプレッシャーのかかることでした。第7分区では、各クラブ会長・幹事はじめ各委員会の委員長から活動計画について発表していただき、最後にガバナー補佐が講評を述べるという流れになっております。私のようなロータリー歴の浅い者が、各クラブの活動計画に講評など述べてよいのだろうかと思問しながらも、役目と割り切って対応させていただきました。講評の内容に勘違いや誤解、また失礼があってはいけないと思いながら各クラブの活動計画書を拝読させていただきましたが、これほど真剣にクラブ活動計画書を読んだことがあったであろうかと思うほど時間をかけて読み込んだことを懐かしく思います。

但し、講評に関しては、「独りよがりの思い込みに陥ってはいなかっただろうか」と、今思い返しても冷や汗が出てきます。

いずれにしても、限られた時間の中で活動計画書を準備していただき、お忙しい中スケジュール調整をしてクラブ協議会を開催していただきました各クラブの会長・幹事様ほか関係者の皆様には、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

また、ガバナー補佐としての最大の事業でもありますIMにつきましては、釧路東ロータリークラブとしては実に10年ぶりにホストを務めさせていただきました。中村圭佐実行委員長をはじめとする実行委員会の皆様、講師を務めていただきました小船井修一パストガバナーはじめご協力いただいたロータリアンの皆様、そして、遠くからご臨席いただきました小谷ガバナー、大友幹事、同期のガバナー補佐の皆様、本当にありがとうございました。

ガバナー補佐として数多くのクラブ訪問や行事への出席、会員の皆様との対話を通じて、ロータリーの持つ力と温かさを改めて実感した一年でした。それぞれのクラブが地域に根差し、奉仕の精神を実践している姿に、大いに学び、また励まされました。

第7分区の会長・幹事様には、会長幹事会、クラブ協議会、分区事業の実施に際しまして、深いご理解とご協力をいただき、大変お世話になりました。

時には困難な局面や、判断を迫られる場面もありましたが、クラブ会長の皆様や幹事、会員の皆様のご協力とご助言に支えられ、無事務めさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。

1年間？いや22カ月間大変お世話になりました。ありがとうございました。

1年間を振り返って



第8分区ガバナー補佐

富山 誠
(根室 RC)

一昨年8月帯広の地に於いて、第1回目の補佐研修会議が開かれ、補佐としての任がスタートしました。それから1年10ヶ月後の6月末に補佐として任が解かれます。

前半は補佐としての役割を主体に研修が行われ、昨年の3月の会長エレクト研修セミナー(PETS)後から実質的な活動が開始されました。分区内における地区財団補助金の有・無、分区内各クラブの活動計画書の提出要請、クラブ協議会への参加等々と今年度のスタート前までの役割が重く、短期間で終了しなくてはならない時間的な制約もあり多忙な日々を過ごしていたと思います。

他方、分区内各クラブの協力体制は良好で、これに関しては各クラブ会長・幹事の皆さんには御礼を申し上げたいと思います。

今年度スタート後の公式訪問に於いても各クラブの受け入れは万全で、ガバナー方針に沿った協議にも様々な視点で意見交換が出来たと思

います。公式訪問終了後には、地区大会に補佐の立場で参加して良い思い出と経験をさせてもらいました。

続いて補佐の一大行事でありますI・Mについては、私の描いたとおりの手作り感、地元感、未来にむけての想像を十分に反映できたI・Mだったと思います。主催した根室クラブの皆さんには感謝しかありません。

そして多数の参加をいただいた分区内の各クラブにも同様に感謝申し上げたいと思います。また、他の分区のI・Mにも参加させていただき、大変有意義でありました。

最後に、アグレッシブな小谷ガバナー並びに大友地区幹事そして他分区の7名の補佐との出会いは私の人生の宝物です。補佐として大変貴重な体験をすることができました。全ての皆さんに感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。



1年間を振り返って



RLI 委員会

委員長 廣 岡 輝 恵
(旭川西 RC)

RLI 開催	パートⅠ	2024年11月10日	オンライン	
	パートⅡ	2025年 1月19日	オンライン	
	パートⅢ	2025年 3月16日	オンライン	全課程修了者 26名
	卒後コース	2025年 6月 8日	帯広市	卒後コース修了者 10名



～卒後コースの様子～

2500地区で RLI を実施したいという葎本パストガバナーの思いのもと、2019-20年度に当時のガバナーエレクトや地区役員が札幌で DL (ディスカッションリーダー) の研修を受け、開催準備をしていたところにコロナウイルスによって活動が中止。2021-22年度に RLI 推進室が動き出し鶴見パストガバナーが現在のオンライン開催の仕組みを整えてくださいました。その翌年から委員会が発足しこの4年間で115名のロータリアンに修了証とバッジが授与されています。

現在ファシリテーターの登録は30名。今期稼働したファシリテーターは17名でした。

次は釧路ベイ RC の森圭一郎委員長にバトン

タッチとなります。これからの課題は、地区として RLI が開催できる体制を整えていくことです。そのためには、①ファシリテーターの登録者を増やすこと。②地区内の主要な地域(旭川・北見・帯広・釧路)で卒後コースが開催できる体制をつくること。③ RLI は会長エレクトや次期幹事のためのものではなく、入会歴の浅い会員やクラブ内での研修にも活用できる手法であることを広く伝えていく必要があります。

修了証を手にした方は是非、ファシリテーターとして登録をいただき RLI の発展にお力添えをいただきますようお願い、ご報告とさせていただきます。

1年間を振り返って



母子の健康増進委員会

委員長 小田 衣代
(帯広南 RC)

母子の健康増進委員会は2024-2025年度に新設され、各分区より女性会員12名で構成された委員会です。

近年、経済的な理由で生理用品を購入できない女性に対し、社会問題の観点から児童生徒の発育に貢献できる支援を行っていくことを目的として、1年目より地区補助金を活用して中学生・高校生を対象とし、第1分区天塩中学校、天塩高校、第5分区オホーツク社会福祉専門学校、第7分区釧路東高等学校、第8分区根室高校に生理用品を寄贈するだけでなく、社会に出る一歩手前の青少年に対し、帯広泌尿器科病院

院長小谷典之氏(2024-2025年度2500地区ガバナー)による「性感染症と避妊の大切さ」をテーマにした講話を通し正しい知識を身につけてもらい困難に向かって生きる力を与えることが重要だと、生理の貧困解消に益するよう活動しました。

この活動は次年度も引き続き行っていきます。

各委員は初めての事で不慣れな中、各学校や希望する自治体・教育委員会に生理用品を贈呈することができました。また、多くのロータリアンのご協力を頂きました事に心より感謝申し上げます。



より一層の理解と実践を!!「3-Year Rolling Goal」



クラブ奉仕・サポート委員会

委員長 鶴見 誠一郎
(紋別港 RC)

2024-2025 年度のクラブ奉仕・サポート委員会は、主にガバナー補佐の皆さんと構成され、地区行動計画推進リーダーとともに地区内クラブ・会員様に **3-Year Rolling Goals** をご理解いただくお手伝いをさせて頂きました。国際ロータリーが、クラブ・地区・ゾーン・全世界の組織に対して掲げる**中期的な戦略目標**です。毎年見直される「動的な3年計画」であって、以下の特徴があります。

3年間を見据えた計画

一度設定したら3年間固定というわけではなく、**毎年1年分を更新**し常に3年先までの目標を維持します。

地区やクラブが戦略的に活動を展開するためのガイド

地区では戦略計画委員会などが、クラブでも戦略計画に関係する委員会が、この目標に沿って行動計画を立てます。

地区ガバナーやリーダーの引継ぎに役立つ

年度をまたぐ連携がスムーズになり、「継続性」と「一貫性」を確保できます。

国際ロータリーの中期戦略計画（Action Plan）と整合

国際ロータリーが推進する4つの優先事項に基づいて設定されます。

今までになかったものですが、会員増強を柱として、従来の手法を活かしつつ、新たな手法を取り入れ、会員一人ひとりに意識して頂くことにより世界的にロータリーを盛り上げようとするものです。さらに、

会員増強

各年度に純増〇名以上、女性会員比率〇%、若年層会員比率〇%など。

ロータリー財団

年次基金やポリオ基金の寄付額目標。

公共イメージ向上

より多くの人々にロータリーを知ってもらい、理解してもらうよう努める。

奉仕活動

地域社会・国際プロジェクトの実施件数。

このように具体化していくことで、今後のロータリーの明るい姿をカタチ作るものとなります。これからも皆さんのために、自分たちのために、取り組んでいきます。

1年間を振り返って



公共イメージ向上委員会

委員長 渡 辺 喜代美
(帯広 RC)

ステファニー A. アーチック国際ロータリー会長のテーマ「ロータリーのマジック」と発表。ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史があり、コロナ禍を通して、プログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れ、ITを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供しています。未来のロータリーの可能性を創造し、実現させるためには、各クラブの会員ひとり一人に協力いただき、会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供。時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開いていくため、ロータリーの活動を会員はもちろんですが、多くの心ある皆様に理解していただく必要があります。

2500地区は、新たな運動スタイルを模索し、実践することが求められています。時代の変化とともに、各クラブは公共イメージを向上させることがロータリーの重要な課題であることを

痛感し、会員一人ひとりの理解と協力が求められていることを強く実感いただいています。それぞれ活動する地域やクラブのおかれている状況は違いますが、2500地区すべてのクラブが一丸となって目標達成一ゴールにむかって一年間全力で活動いただきましたことに感謝申し上げます。

生涯ロータリアン時代を創造するためには、会員基盤の多様化を推進する必要があります。各クラブ創立の原点を見つめ、未来のクラブを創造するため、小谷ガバナーのスローガン「ロータリーに参画しましょう！誰かのために、あなたのために、自分のために」を掲げ、クラブ会長が中心となって、2024-25年度公共イメージ向上に取り組んでいただき、2500地区に公共イメージの輪を大きく広げていただきましたことに、深く感謝申し上げます。また委員として支えていただきました大友広明様（帯広西）、平井昌弘様（釧路北）、石川泰路様（旭川西）ありがとうございました。



『地区活動方針★女性会員ゼロクラブ→ゼロを目指しましょう！』
小谷ガバナーを囲む第六分区女性会員の集い

1年間を振り返って



会員増強委員会

委員長 平 井 昌 弘
(釧路北 RC)

2024-2025年度、今年度のステファニー A. アーチック会長は、『ロータリーのマジック』と掲げられあらゆる分野での行動計画が求められ、その行動計画には様々な変更を加えなくてはならないと仰っておられました。

また小谷典之ガバナーが掲げた『ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために』を実践し、常に発信されていた、会員増強、ファンドレイジング、奉仕事業の充実化、公共イメージアップの好循環を私も会員増強委員長として、各講演、卓話などでお話をさせて頂きました。残り1年間もこの部分は最終的に会員増強にも繋がりますので声を大にして発信していく所存でございます。年度スタート時の地区会員数は2248人で2025年6月末時点では2312人と64名の増となりました。

しかしながら、新クラブ設立はゼロ、また女性会員の割合も6%と変わっておらず、私の1年間の活動は他クラブへの卓話を中心に行い、次年度へ向けたDTLS,PELSにおいてはディスカッションや分科会など、様々な情報を共有し会員増に努めて参りました。

結果として会員数は増えたものの、委員長としての活動はまだ足りないと感じております。

その中でも今後の課題として提唱されているのが新クラブ設立と女性会員の増強でございます。特に新クラブ設立に関しましては、活動分野に基づく衛星クラブの設立が全国的に活発化しております。やむを得ない理由で退会をしたメンバーや世代交代などで退会をしたメンバーなどを再度お声掛けし安い年会費などでもう一度ロータリアンとして活躍の場を提供したりなど各クラブ、各地域での特色を活かした活動分野があると思います。

次年度も同じ立場で今年度、成しえなかった部分を次年度に活かしていきたいと考えております。まずは一年間小谷典之ガバナーの下、大変お世話になりそして活動できたことを大変光栄に思っているところでございます。

結びになりますが、各会議開催にあたり小谷典之ガバナー・ガバナー補佐・会員の皆様には大変ご尽力を賜りこの場をお借りして心より感謝申し上げます。一年間大変お世話にありがとうございました。

次年度も何卒よろしくお願い致します。

1年を振り返って



オンツー・カルガリー委員会

委員長 菊池 俊博
(帯広西 RC)

2025年6月、カナダ・アルバータ州カルガリー市にて開催されたロータリー国際大会に、2500地区 オンツー・カルガリー委員長として参加いたしました。私自身、メルボルン（2023年）、シンガポール（2024年）に続き、3回目の国際大会となりました。

今大会には世界中から約16,000名が登録し、そのうち日本からは約1,500名が参加しました。2500地区からは28名が参加し、隣接する2510地区からも26名が合流し、合同で「北海道ナイト」を開催するなど、地域を超えた交流の場ともなりました。

オンツー・カルガリー委員会としては、2024年4月の地区研修協議会で壇上より正式に呼びかけを行い、同年10月より各クラブに向けて案内を開始しました。カルガリーという日本から距離のある都市での開催に加え、航空手配や時差調整、言語面の不安など、参加をためらう要因も少なくありませんでしたが、「誰かのために、あなたのために、自分のために」という小谷ガバナーのスローガンに共鳴し、多くのロータリアンが行動を起こしてくださったことに感謝しています。

大会初日には、2510地区と合同で「北海道ナイト in カルガリー」をホテルアーツにて開催。初対面の方々とともに自然に打ち解け、笑顔と笑い声に包まれた和やかなひとときとなりました。北海道ナイトの開催にあたっては、2510地区の皆さまとも緊密に連携しながら準備を進めました。

両地区あわせて20クラブ・計54名が参加し、終始活気と一体感に満ちた会となりました。中でも「クラブ紹介1分間スピーチ」は大きな盛り上がりを見せ、参加者全員が壇上に立ち、それぞれのクラブの魅力や個性をユーモアを交え

て紹介。まるで旧知の友人同士のように笑顔が広がり、まさにロータリーの友情を体現する時間となりました。

なお、参加クラブは以下の通りです。

【2500地区】（9クラブ・28名）

旭川西 RC / 帯広西 RC / 帯広南 RC / 釧路 RC / 釧路北 RC / 釧路ベイ RC / 美幌 RC / 富良野 RC / 紋別港 RC

【2510地区】（11クラブ・26名）

岩見沢 RC / 恵庭 RC / 江別西 RC / 小樽南 RC / 札幌北 RC / 札幌大通公園 RC / 札幌幌南 RC / 札幌西北 RC / 札幌西 RC / 函館亀田 RC / 千歳セントラル RC

また、翌日に行われた RI 理事主催の親善朝食会（日本人朝食会）では、ステファニー A. アーチック RI 会長との記念撮影の機会にも恵まれました。この朝食会および本大会の開会式では、日本人参加者全員で事前に準備した「カルガリーハット」を着用し、会場に華やかさと一体感をもたらしました。同じ帽子を被ったの参加は、遠く離れたカナダの地においても、日本のロータリアンの絆を感じさせる心温まる演出となり、他国の参加者からも注目を集めていました。

メルボルン、シンガポールに引き続き、本大会でも会場のスケール、各種イベントの迫力は圧巻で、世界中のロータリアンが一堂に会する場に身を置けること自体が、まさに「ロータリーのマジック」そのものでした。特に開会式や全体セッションでは、演出・映像・音響の全てが国際大会ならではのクオリティで展開され、会場からは大きな拍手と歓声が湧き上がりました。さらに、日本国紹介の場面では、日の丸の国旗登場の瞬間にひととき大きな歓声が起こり、他国に引けを取ることもない存在感をしっ

かりと世界に示すことができたことに、深い誇りを感じました。

なお、今回はカルガリー入りする前に、ロサンゼルスを経由する旅程を選んだメンバーも多く、私自身もその一人でした。現地ではドジャーススタジアムを訪れ、大谷翔平選手の試合を観戦。流石メジャーリーグというべきスケール感と熱気に、参加者一同大いに興奮し、カルガリー大会とはまた違った“アメリカン・ロータリーツアー”のような体験となりました。

また、今回の旅ではさまざまな“事件”も起こりました。ある会員はなんと2度パスポートを紛失しながらも、幸運にも2度とも発見されるという奇跡を起こし、周囲を驚かせました。さらに別の会員は、パスポート・財布・携帯電話の3点セットをすべて一時紛失するという前代未聞の事態に見舞われましたが、こちらもすべて無事に戻ってくるという結果に。まさに“ロータリーのマジック”を地で行くような出来事でした。

そして最後にご紹介したいのが、某Oガバナーの“朝の珍事”です。普段は誰よりも早く朝食会場に現れることで知られるOガバナー

が、その日に限ってまったく姿を見せず、集合時間が迫る中、参加者の間に緊張が走りました。電話にも出ず、ホテルフロントからの連絡も応答なし。カギも貸してもらえず、最終的には部屋の扉を全力で叩いて起こすというドラマチックな展開に。ようやく開いた扉の向こうには、睡眠導入剤でぐっすり寝入ってしまった“寝坊ガバナー”が…。出発ギリギリのスリリングな出来事でしたが、今となっては旅の楽しい思い出のひとつです。

ロータリーの理念は言語や文化を超えて共有されており、世界のロータリアンと一体感を持てるこの大会は、まさに“参加してこそ得られる体験”だと改めて実感しました。今後も国際大会を通じて、世界との友情と学びを体感する仲間が一人でも多く増えることを心より願っています。

そして来年の開催地は台湾・台北です。日本から最も近い国際大会のひとつとして、移動や参加のハードルも大きく下がります。

このまたとない機会に、ぜひ多くの仲間と共に参加し、“世界とつながるロータリー”と一緒に体感しましょう。



1年間を振り返って



青少年奉仕委員会

委員長 藤 田 礼 三
(遠軽 RC)

前年度に引き続き担当しました。一番の仕事は韓国3590地区との青少年交換事業であります。諸事情で鶴見前ガバナーが契約の見直しについて合意しましたので、今後の在り方について検討するように指示されました。

小谷ガバナーと、今後の青少年海外との交流について検討して来ました。

2025-2026年度の地区計画書を見ますと、青少年奉仕委員会がなくなっていますので、インターアクト委員会に一本化されたと判断できません。

現在インターアクトクラブ11クラブで活発に活動しています。今年度遠軽ロータリークラブのインターアクトクラブも、帯広での研修会、台湾・新竹高校との国際交流との報告を受けました。その中で国際的な奉仕の精神を学び取ったと思います。

いずれにしても、2500地区は小さなクラブが多いので、なかなかインターアクトは出来ないと思いますが、一名でもクラブ負担で、参加出来るようにしたいものです。



写真は、遠軽インターアクトクラブの研修会参加者と、台湾参加者の写真

1年間を振り返って



危機管理委員会

委員長 湯 浅 秀 昭
(旭川北 RC)

2024-2025年度、ステファニー A. アーチック会長は、「ロータリーのマジック」を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。その中で、「継続と変化のバランス」、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン（DEI）の原則を取り入れることであると述べました。危機管理の観点からも、大変重要だと感じます。

今年度は、地区補助金を使った奉仕活動の実施の際、代表者から連絡が来ることが多くなりました。事業の内容を確認して、どのような準備が出来るか、リスクは何かを共に考える時間が増えました。

ここで、今一度危機管理の基本姿勢を共有したいと思います。

【危機管理の基本姿勢】

1. 危機は必ず起こると認識する
2. 予兆を捉え予防に徹する
3. 安全と安心は自ら守る
4. ロータリーは例外ではない
5. 少人数で対応する
(三人寄れば文殊の知恵は通用しない)
6. 直ぐに対応し、早く解決する

最も重要なことは、事故・事件を事前に防ぐこと（予防ーリスクマネジメント）です。平時から「備え」についての研修を継続し、全てのロータリアンが危機への正しい理解を持つことです。ロータリーは単年度制であり、また社会環境の変化に対応するためにも研修が重要です。

次年度も、引き続き危機管理委員長ですので、卓話などでお話をする機会を頂ければ、委員会で検討し、お伺いすることも考えております。

今年度、皆様のご理解とご協力を頂き1年が終わろうとしています。

1年間ありがとうございました。

1年間を振り返って



ロータリー青少年交換委員会

委員長 喜 多 俊 晴
(紋別 RC)

2024-25年度青少年交換プログラムに参加する学生がいなかったことから、本年度の私共の活動は、2025-26の交換学生の募集及び交換が確定した学生の準備が主な仕事となりました。

2025-26年度の交換事業は、私共2500地区と3330地区（タイ）間で行われる運びとなっております。現在、双方の学生がビザ申請まで準備が進んでおり、2025年夏には双方の学生が交換を開始する予定となっております。

昨年度、地区として交換事業が滞ってしまった中、本年再開することができたことに関係ホストクラブ、並びに相手地区（3330地区）に感謝を申し上げます。2025-26年度の交換が滞りなく進められ、また、次年度以降も交換が行われるよう心から祈っております。

1年を振り返って



インターアクト委員会

委員長 曾 我 浩 昌
(帯広北 RC)

今年度インターアクト委員会ではコロナ禍前に行われていた短期海外研修を復活し、地区大会と合わせ2事業を行うことができました。

まず短期海外研修ですが、3月24日から27日の3泊4日の行程で、9つのインターアクトクラブより10名が参加していただき、帯広大谷高校インターアクトクラブの金沢先生を引率顧問、引率ロータリアンは私を含めた3名で台湾にて行いました。台湾の新竹県にある国立新竹高級工業職業学校（新竹高工）インターアクトクラブとの交流をメインに台北見学など行い、参加した10名のほとんどが初の海外渡航というなかで圧倒的な異文化を体感する国際交流で、参加者の貴重な経験となり、また成長の糧になったと感じております。一方で課題もあり、コロナ禍前に比べ旅費が高騰し、提唱クラブや地区の財政的負担が増している状況です。継続的に事業を行うために今後も地区・提唱クラブ・各インターアクトクラブ間で話し合う必要性があります。

インターアクト地区大会は帯広大谷高校インターアクトクラブがホストクラブとして2年連続での帯広での開催となりましたが、地区内10のインターアクトクラブから生徒数52名、顧問10名、ロータリアン21名の参加のもと開催

いたしました。昨年に比べ短期海外研修に参加したメンバーのつながりがあり、意見交換やコミュニケーションが活発に交わされていたことがとても印象的でした。また上士幌町役場の保健師である松下講師のお話しも地域の福祉を考える機会になり、青年海外協力隊での経験談は国際的な知見を得る貴重な機会となったと考えています。今大会では参加者の皆様から登録料をいただくことで昨年に比べ参加者を多く募ることができましたが、予算の都合で希望者全員の参加を募ることはできませんでした。この部分については来年以降の課題と考えています。

短期海外研修でご協力いただいた各インターアクトクラブ顧問や送り出していただいた各提唱クラブの皆様、引率・同行を引き受けていただいた帯広大谷高校金沢先生とロータリアンの皆様、また地区大会ではガバナーをはじめとした地区の皆様、2年連続ホストクラブとして運営に携わっていただきました帯広大谷高校インターアクトクラブと提唱クラブの帯広北 RC の皆様、また参加していただきました各インターアクトクラブと提唱クラブの皆様、本当にありがとうございました。皆様に支えられて1年を終えられることを心より感謝申し上げます。



1 年間を振り返って



ライラ委員会

委員長 上 野 庸 介
(帯広西 RC)

本年度の活動を振り返るにあたり、まずは、「第41回ライラセミナー in 十勝」を無事に開催することができましたこと、そして多くの皆様からの温かいご支援とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

私たちライラ委員会は、コロナ禍を乗り越えた昨年の「第40回ライラセミナー in 北見」の開催を大きな転機と捉え、その思いと成果を引き継ぎながら、本年度の十勝開催に向けて準備を進めてまいりました。行動制限や自粛が続いた数年間を経て、人と人が対話し、共に学び、夢を語り合うことの大切さを改めて実感したことが、今年のセミナーにも確実に息づいております。

本年度のセミナーテーマは、『『夢』を希望に変えていこう～ DEI の時代に生きる』でした。

多様性 (Diversity)、公平性 (Equity)、包摂 (Inclusion) が問われる今の社会において、一人ひとりが自分の「夢」を持ち、それを「希望」に変えていけるよう、ライラ世代がつながり、学び合う機会としたいという願いを込めています。

講演は、サッカー元日本代表の 城 彰二 氏 をお迎えし、「夢に向かって～栄光と挫折を乗り越えて～」と題した講演をしていただきました。トップアスリートとして栄光を掴みながらも、多くの試練を乗り越えてきた経験、そして引退後に歩んできた道のりを通じて、夢を持ち続けることの大切さと、それを実現するために必要な心の在り方を語っていただきました。若者たちにとって、自分自身と向き

合い、社会とのつながりの中で希望を見出す貴重な時間となったことと思います。

その後、初対面の参加者同士が班に分かれ、ディスカッションやグループワークを通じて互いに学び合い、協力し合うことで、DEI の価値を実感しながら自らの役割を考える機会ともなりました。とりわけ、コロナ禍で「集うこと」「語り合うこと」が制限された世代にとって、この時間は新鮮で、深い学びのある体験となったことでしょう。

本年度、私たちの活動を導いたのは、小谷典之ガバナーの地区スローガンである、「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」でした。

このスローガンが示すとおり、ロータリー活動とは他者のためだけではなく、自分自身の成長や気づきにもつながるものです。今回のライラセミナーもまさにその実践の場であり、若者たちが社会と関わり、他者と協働しながら、自分自身の可能性を広げる一歩を踏み出す場となったのではないかと感じております。

最後に、地区内各クラブのロータリアンの皆様、地区役員の皆様、セミナー開催時には各班の取りまとめ役を担っていただいた帯広ロータクトクラブの皆様、そしてホストクラブである帯広西ロータリークラブをはじめとする多くの関係者の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。



1年間を振り返って



ローターアクト委員会

委員長 飛岡 抗
(帯広 RC)

まず、一つ目のミッションは、アクト地区代表高松君との共同代表です。その中で我々ローターアクト委員会9名の委員とアクトの架け橋として活躍して頂けることを期待しお願いしました。

二つ目は、地区ローターアクト3ブロック会議を開催し、コロナ後でリアル開催ができていないこともあり、RAC新会員・RC新青少年育成委員長の顔も分からない状態でしたので、ローターアクト委員会の役割、ロータリークラブ青少年育成委員長の役割、定款細則の変更点等丁寧に説明させて頂きました。また、互いの

事業に参加することで、懇親交流ができ仲間意識が芽生え互いの連携・協力に繋がりました。

今年度は、RAC創立50周年・40周年記念事業の年となり北は稚内・網走・富良野・帯広・と参加させて頂きました。北見が次年度事業と重なり参加ができず北見 RAC の皆様には失礼しました。

最後に、小谷ガバナーをはじめとした地区役員、地区ローターアクト委員会の皆様、ローターアクト会員の皆様のご支援、ご協力と友情に感謝いたします。

ありがとうございました。

1年間を振り返って



社会奉仕委員会

委員長 野村 文 吾
(帯広 RC)

過去にも増して社会問題が顕著になり、ロータリーの取組みが重要視される年度となりました。

本年度は、昨年度の様々な学びを糧にして、該当地域クラブとともに活動していくことを念頭に、事業開始前には該当地域の各クラブの社会奉仕委員長に出席して頂く委員会を開催しました。

委員会では、事業の主旨・目的・手段の説明を念入りに行い、意見交換もしっかり行いました。結果、ブラッシュアップが図られ、地区委員によるクラブへ出向いて行つての説明も行い、各クラブでは周知の場を二回設定し、該当地域クラブへのより広くより深い理解に繋がりました。

今回は、実施を前倒したため利用者数が飛躍的に増え、事業主旨の周知が徹底されました。加えて、利用者へのアンケート調査でDX化を図り、誰にでも何処ででも簡単に回答できるように改善を掛けたため回答数も飛躍的に増え、より重要な分析結果を得ることができました。

最後になりますが、小谷ガバナーおよび役員の皆さま、委員会の皆さま、特に第7分区8クラブの皆さまのご協力に、心からの感謝を申しあげまして一年間の御礼に代えさせていただきます。



2024年9月9日 地区委員による音別RCでの説明

1年間を振り返って



職業奉仕委員会

委員長 丸 小 寿 幸
(稚内南 RC)

2024-2025年度職業奉仕委員長を務めさせていただき、多くの皆様にお世話になりました、1年間本当にありがとうございました。

職業奉仕は、ロータリーの目的の第2項を土台としており、第2項では「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とされ、高い倫理基準と高潔性が求められています。

具体的な活動としては、職業奉仕卓話、会員スピーチ、職場見学、クラブフォーラム、職場体験、出前授業 等があげられます。

職業奉仕委員会では、それぞれのロータリークラブにおいて、様々な形で日々職業奉仕活動を実践されていても、実際どのような活動が行われているか意外と知る機会が少ないとの考えに至りました。そして、各クラブで行われている、様々な職業奉仕活動を知ることが出来るなら、今後の各クラブや、メンバーのより素晴らしい職業奉仕活動に繋がれるのではないかと考えました。

そこで、2500地区すべてのロータリークラブの皆様から、事例を報告して頂き「職業奉仕

活動事例集」としてまとめ、発刊することといたしました。

職業奉仕月間である1月に事例を依頼し、2500地区の全ての64クラブより、93件の事例の提出を頂きました。忙しい中、ご協力いただきました、会長、幹事、職業奉仕担当委員長の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。おかげさまで、5月に「職業奉仕事例集」を無事発刊する頃が出来、各クラブに送らせていただき、さらに、2500地区の会員専用ページに掲載していただき、ダウンロードが可能になっています。今年度作成しました、「職業奉仕事例集」が少しでも、活用されることを期待いたします。

1年間共に活動していただいた委員会の皆様には、リアルの委員会は2回でしたが、メール、電話などを通して、様々なご意見、ご協力を頂き感謝申し上げます。

また、発刊を快諾頂きました小谷ガバナー、1年間様々なお願い事に、迅速に対応・協力いただきましたガバナー事務所、地区事務所の皆様に感謝申し上げ、1年の振り返りとさせていただきます。

1年間を振り返って



米山記念奨学会運営委員会

委員長 帰山 哲雄
(北見 RC)

2024-2025年度 RI 第2500地区の米山記念奨学会運営委員会の委員長を拝命し、米山記念奨学会の活動を通じて米山梅吉翁が残した功績の素晴らしさを実感させて頂きました。

本年度、奨学生の卓話の依頼や寄付の増進について各クラブの皆様にご協力を頂きましたことに感謝と御礼を申し上げます。当委員会では奨学生の面接から始まり、クラブ様への受け入れの依頼やご寄付の増進に繋げるべく活動していく中で、さらにご理解を頂くために継続して活動することの重要性を再確認いたしました。

また、活動する中、残念なことに歴史的背景から国籍等での偏見が一部で見受けられるのが事実です。奨学生たちは純粋に日本に学びに来ている優秀な子たちばかりです。そしてその子たちは学友会に所属し、様々な活動を行い活躍してくれています。どうかより良い活動に繋げるためにご理解を頂きたいと思います。

そして、奨学生により良い環境を提供するとともに、ロータリアンの皆様には米山記念奨学会の事業の素晴らしさを更にご理解頂き、奨学生を守り育て、社会貢献に繋げて頂き、この事業の目的でもある世界平和へ繋げる活動になればと思います。

引き続き、ロータリアンの皆様には米山記念奨学会への更なるご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

【活動報告】

- 新規世話クラブ・新規世話子クラブの選定と依頼（1月～2月）
- 奨学生、カウンセラーオリエンテーションの開催（4月7日開催：北見市）
- 地区米山奨学会研修セミナーの開催（7月21日開催：帯広市）
- 米山記念奨学会カウンセラーセミナー（9月7日開催：帯広市）
- 米山奨学生の地区大会への参加（10月12日・13日開催：帯広市）
- 米山月間（10月）を中心に各クラブへの啓蒙活動の推進（3つの RC にて卓話をさせて頂きました。）
- 寄付の増進（年を通じて活動）
- 地区内の新規指定校の開拓（年を通じて活動）
- 次年度奨学生の選考面接会の開催（12月8日開催：帯広市）
- ガバナー月信への投稿（各奨学生11名・委員会から投稿）

1年を振り返って



国際奉仕委員会

委員長 小船井 修 一
(釧路 RC)

世界と日本の2024年7月から2025年6月までの一年

【7～9月】

パリ五輪、大谷史上初の「50－50」、袴田さん無罪判決、自民新総裁に石破氏

【10～12月】

日本被団協にノーベル平和賞、衆院選自公過半数割れ、米大統領選挙トランプ氏勝利、韓国「非常戒厳」翌年大統領罷免、

【1～3月】

1月トランプ大統領就任、フジテレビ騒動、3月トランプ関税発動

【4～6月】

令和の米騒動、トランプ関税の拡大による世界的な混乱、ローマ法王死去、

ロータリーの一年間のトピックは

※2025年4月シカゴ規定審議会が開催（3年に一度開催）

※国際ロータリーカマルゴ会長エレクト6月8日辞任、6月14日アレソ氏が後任として7月1日国際ロータリー会長に就任

国際奉仕委員会の活動報告

任務および責務

a) グローバル補助金の申請数の改善と、国の異なるロータリークラブおよび地区の協力体制の構築を重視する。

b) プロジェクトおよび補助金の改善に向けてリソースの特定と促進をするため、地区ロータリー財団委員会等の地区全体のリーダーと協議し協力する。

c) グローバル補助金申請の支援に関心を持つその他の専門家とも連携する。

以上の任務および責務を遂行するために
※地区国際奉仕委員会を主に地区財団委員長を経験した委員で構成することにしました。

※地区財団関連行事（地区財団セミナー、補助金セミナー等）へアドバイザーとして出席し適切な情報提供と助言をさせていただきます。

2024-25年の活動（参加した各種セミナー）

3月2日 地区研修セミナー・PETS

3月28日 タイ3330地区グローバル補助金完成式典参加（タイ）

4月13日 地区研修・協議会（帯広）

4月18日 クラブ活性化セミナー（東京）

7月20日 地区財団セミナー（帯広）

12月13～15日 ロータリー研究会（横浜）

3月8日 第七分区（釧路）IMにてロータリーの魅力をテーマに講演

1年間を振り返って



リソースとサポート委員会

委員長 本 間 潤
(旭川西 RC)

1年間大変お世話になりました。

年度当初の計画にて「海外奉仕事業における現地調査及び事業終了後の完成検証時の旅費の一部を支給し、海外奉仕事業を行う各クラブの支援を行う。」また利用可能なリソースについて、各クラブにお伝えし、各クラブにて検討・計画している国際奉仕事業を支援するとしていました。

国際奉仕事業を行う各クラブの活動支援を行う委員会として認知度を高める広報が、まだまだ足りない感じではありますが、お問い合わせも多く頂いた年度でありました。

旅費申請をされた活動の 3事例を報告いたします。

1. 申請クラブ 帯広北ロータリークラブ 参加5名

事業目的 「疾病予防と治療」 モンゴルグローバルグラントプロジェクト (GG2569039)

開 催 地 モンゴルウランバートル ザブハン県内 開会式セレモニー参加

事業内容 メンタルヘルスケアの質の向上と提供 サブハン県内の全ての区分にテレメディスン機器の導入 クリニック医師に対する引き渡しとトレーニングの実施

1. 申請委員会 2500地区グローバル補助金委員会 参加4名 贈呈式

事業目的 「疾病予防と治療」

開 催 地 タイ3300地区 ラチャブリー バーン病院

事業内容 傷病者・障がい者・高齢者を対象とするリハビリ機器の提供

1. 申請クラブ 旭川西ロータリークラブ 参加12名

事業目的 「水と衛生」 タイプーケット地区パクロクの小学校における水と衛生設備の改善・衛生習慣の改善

開 催 地 タイ 3300地区 プーケット

事業内容 学校トイレ・手洗い場の新設と改修カフェテリアの改善 学校と地域社会における水と衛生に関する4日間のトレーニング WASH キャンペーン・地域クリーンアップ DAY の開催

まだまだ認知度が低い補助金ですが、各クラブの立案される国際奉仕プロジェクトのお役に立てればと思います。

地区ロータリー財団委員長としての1年



ロータリー財団委員会

委員長 鶴 見 誠一郎
(紋別港 RC)

2024-2025 年度、財団委員長を務めさせて頂きました。次のとおりご報告します。

責務 ①ロータリー財団の推進と支援

- ・ 地区内クラブに対してロータリー財団の使命、目的、活動内容を広める。
- ・ 財団への寄付（年次基金、恒久基金、ポリオプラスなど）を推進する。
- ・ ガバナーと連携し、財団活動の戦略的計画を立案ならびに実施する。

②補助金制度の運営と管理

- ・ 地区補助金とグローバル補助金について、適正な管理を行う。
- ・ 補助金受領クラブへの支援や情報提供などを実施する。
- ・ 年次財務報告や報告義務を確実に果たす。

③財団に関する広報

- ・ 寄付することの意義や大切さを広める。
- ・ ロータリアンとしての金銭的支援が何を生み出すかを広める。

④地区財団委員会の運営

- ・ 委員会メンバー（奨学金、補助金、寄付推進など各担当）と調整する。
- ・ 必要に応じて小委員会を設置し、専門的な活動を遂行する。

⑤ロータリー財団との連絡調整

- ・ 国際ロータリーやロータリー財団のスタッフとの連絡窓口となる。
- ・ My Rotary を通じて財団情報や補助金管理を行う。

これらが責務と考えていますが、私自身は③にもっと注力したかったと思います。日本は、先進国のなかで寄付文化が遅れていると言われています。寄付は、お金を盗られることではありません。寄付＝信じて託す、支援する行為です。信頼、共感、繋がりへと連鎖します。また、未来への投資です。

2025-2026 年度からは、ロータリーメンバーシップコーディネーター補佐との兼務が不可となったため、任期途中、志半ばで地区財団委員長の役を退くこととなりますが、これからも機会があるごとにロータリー財団への理解、そして、寄付することへの理解を皆さんに深めて頂けるようお手伝いしていきたいと思っています。

1年間を振り返って



グローバル補助金チーム

リーダー 荒井 剛
(釧路 RC)

今年もあっという間に1年間が過ぎてしまいました。

グローバル補助金は、地区補助金と異なり、予算規模も3万ドル（約450万円。1ドル150円）と大きく、有益な国際奉仕事業を実現させることが可能ですが、実施国側のロータリークラブとのやりとりが必須となります。言語や文化の違い等から生じる行き違いもあり、スムーズにいかない場合もありますが、それを乗り越えてプロジェクトが実現に至ると喜びもひとしおです。

今年度も当地区では、友好地区であるタイ国の3330地区を中心にリハビリ機器の提供、衛生環境改善、白内障患者支援事業のほか、モンゴルとの間でもメンタルヘルスケアの質の向上、啓発活動、遠隔医療技術の導入といったグローバル補助金事業が行われました。上記事業に参画していただきました各クラブにあらためて感謝申し上げます。そして、グローバル補助

金事業の申請、承認、そして、現地で行われた贈呈式に実際に参加されたロータリアンの方々にも感謝申し上げます。

私自身も本年5月末、スポンサークラブである釧路ロータリークラブのメンバー3名とともに3330地区で行われたグローバル補助金事業（リハビリ機器の提供）の贈呈式に参加し、Ploi Ratchaburi RCをはじめ、本事業に関わった現地の他の6つのRCと交流を図ることができました。一つの事業への参画が国を超え、複数のクラブ、複数のロータリアンとの交流につながります。これはまさにロータリーのマジックといえます。

今後も当地区でも一人でも多くのロータリアンがグローバル補助金事業に参加し、ロータリーのマジックを体感していただきたいと思います。

1年間、ありがとうございました。



1年間を振り返って



地区補助金チーム

リーダー 工 藤 一 則
(帯広北 RC)

2024-2025年度の地区補助金申請は、地区事業3・クラブ事業15クラブ(合同含む)の申請を受け付け、配分可能なUS\$66,688のうち、管理運営費と予備費・臨時費を除いたUS\$56,111を配分しました。結果、地区事業3・クラブ事業(合同含む)、14の地区補助金を活用した事業を開催して頂きました。事業を活用してロータリーの公共イメージの向上と地域社会への貢献を果たされた皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

ご承知の通り地区補助金は、皆様がロータリー財団に寄付された資金がシェアシステムを通じて、3年後に使用できる資金ですので、是非活用して、地域やクラブの活性化などに役立

てて頂ければ幸いです。そのために地区補助金チームは支援と協力を惜しみませんので、今後ともご協力賜れば幸いです。

結びに、2024-2025小谷ガバナー年度のチームリーダーとして地区補助金に関わり、小谷ガバナー、大友地区幹事、佐々木事務局並びに、本間財団副委員長をはじめ、チームメンバーには大変お世話になりましたことを心より感謝申し上げます。また、申請クラブのご担当者様にも計画段階より多くのご無理を申し上げましたが、様々な事柄に真摯にご対応を賜り、すべて事業報告を提出して頂きましたことに深く感謝の意を表しまして報告いたします。

1年間を振り返って



学友・奨学金チーム

リーダー 稲田 良輔
(旭川北 RC)

地区補助金を使用した奨学金

当2500地区は地区補助金を使用して、地区内にある児童養護施設（6施設）から大学・短大・専門学校に進学を希望する子供達に、奨学金を給付しております。

これは高校卒業以降、国からの措置費が割り当てられない子供達への支援を目的としたもので、平成26年度からの継続事業であります。本年度は26名の子供達に給付いたしました。

昨年度は19名の子供達への給付であったことから考えると、多くの支援をすることができたと考えております。

グローバル補助金を使用した奨学金

こちらに関しましては、応募者はいませんでした。

ロータリー学友

各施設のご担当者様との面談の中で、現在の生徒の状況、卒業された生徒の状況、これから入学予定の生徒の状況などをヒアリングし、奨学金をただ支給するだけではなく、どのようにご活用いただいているかを聞くことができました。次年度以降も多くの支援をしていきたいと考えております。

1年を振り返って



ロータリー平和フェローシップチーム

リーダー 東海林 勉
(遠軽 RC)

「当地区から、是非、ロータリー平和フェローを送り出そう」ということで、本年もロータリー平和フェローシップ申請受付を2025年2月に開始、締め切りの5月15日までに残念ながら一人の応募、または推薦、あるいは問い合わせもありませんでした。

反省点として、積極的な情報提供・広報活動等の不足はもとより、チームとしての活動が出来なかったことがあったと思います。

なお、新年度直前の2024年6月22日、ロータリー平和センターがあるICU（国際基督教大学）での第22回ロータリー平和センター年次セミナーに初めてリアル参加することが出来ました。

今回はコロナ禍の中（特別措置として、フェローたちの卒業や入学の延期等）、20期生（6名）及び21期生（8名）の計14名が同時に卒業を迎えることとなり、フェローたちの熱心な探求心による素晴らしい2年間の研究成果発表と質疑応答を拝聴することが出来ました。

渡された資料には各フェローの略歴が記載されており、平和構築と紛争解決への強固な意志を感じました。

年次セミナー終了後、卒業を祝う会が開催され、修士課程修了証授与と同センターとフェローたちを支援するホストエリア協議会（周辺6地区で構成）から記念品が贈呈されました。

フェローの一皆さんは晴れ晴れとした表情で、中には子連れフェローもいて、2年間の異郷での留学生活を乗り切った母子の満足した姿がありました。

国際ロータリーのステファニー A. アーチック会長は「平和構築は最優先事項の一つであり、そのようなプログラムの一つに『ロータリー平和フェローシップ』があります」、また、「ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならぬ」と述べておりました。

将来、第2500地区から「ロータリーのマジック」で平和フェローを輩出したいと思います。

1年間を振り返って



VT チーム

リーダー 小 沢 昌 博
(帯広 RC)

2022年7月よりチームリーダーの拝命受け、2022-23年久木ガバナー、2023-24年鶴見ガバナー、2024-25年小谷ガバナーと各ガバナーの方針のもと、チームを進めさせていただきました。

皆様御存じのように、VT チームとは Vocational training team 職業研修チームの略となります。

専門職業人のグループを海外から受け入れ、又は赴き、スキルや知識を学んだり、スキルや知識を提供したりするものです。

費用は地区資金、地区補助金、グローバル補助金を利用し VT を行う事が可能ですが、それぞれの資金により、異なる要件があります。

VT は世界各地の地区間で、またクラブ同士でも実施が可能です。VTT の効果的な推進には、実施前の現地視察を始めとする入念な計画が重要であり、グローバル補助金を利用する場合は以下7つの重点分野を支援することが必要です。

- 平和構築と紛争予防 ■疾病予防と治療
- 水と衛生 ■母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展 ■環境

以上各重点分野に関係する事業であることや持続可能なプロジェクトであることが求められます。



活動内容はチームにより異なりますが、様々な活動が可能であり、VT の効果的な実施により、地域社会の人々が自らの問題を解決し、様々な環境を改善する力を身に付ける事ができます。

2023年度久木 PDG がモンゴル国訪問の際、現地ロータリー PAG より、これからのモンゴルを将来牽引してゆく子供たちの理科学教育へ日本の優れている教育を学ぶため、日本のロータリーの協力が必要との要請に応える為に、2500地区 VT チームは、日本の各教育機関の協力を仰ぎ、これからのモンゴルでの小学生の教育環境を整え、教育する知識を研修して頂く理科教員研修を2500地区で2023年準備を始め、2024年5名のモンゴル理科教員とチームリーダー合計6名を2500地区へ受け入れ研修実施致しました。

教員は帰国後にモンゴル国内で、ロータリーと研修内容の WEB 報告会を開き、多くの国内教員へ情報の共有を行い、各自早速、内容を授業へ取り入れ実践しておりました。

今後も、モンゴルより理科教育研修範囲の拡大の要請、また、教師への AI 及び情報技術活用や病院の医師、看護師への研修など新たな協力を求める要望が届いています。

次年度もロータリー財団と VT 事業への皆様のご理解とご協力をお願い致します。



2024-2025年度 RI第2500地区

2024年 (令和6年) 7 月			2024年 (令和6年) 8 月			2024年 (令和6年) 9 月		
1	月	ガバナー会議(東京)	1	木	美深(公式訪問) 遠軽(公式訪問)	1	日	
2	火		2	金	紋別(公式訪問)	2	月	帯広南(公式訪問) ★
3	水		3	土		3	火	芽室(公式訪問) 帯広東(公式訪問)
4	木		4	日		4	水	音更(公式訪問) 帯広(公式訪問)
5	金		5	月	音別(公式訪問) 釧路西(公式訪問)	5	木	旭川M(公式訪問) 旭川東北(公式訪問) 旭川東(公式訪問)
6	土	第1回地区諮問会議 ガバナー補佐会議	6	火	釧路東(公式訪問) ★	6	金	帯広北(公式訪問) ★
7	日		7	水	釧路北(公式訪問) 弟子屈(公式訪問)	7	土	
8	月	豊富(公式訪問) 稚内南(公式訪問)	8	木	美幌(公式訪問) 中標津(公式訪問)	8	日	
9	火	利尻(公式訪問) ★鬼脇中学校	9	金		9	月	興部(公式訪問) ★
10	水	利尻島(公式訪問) 礼文(公式訪問)	10	土		10	火	★ ★
11	木	★稚内大谷高校 稚内(公式訪問)	11	日	祝日 山の日	11	水	上士幌(公式訪問) ★
12	金	★稚内南中学校 ★	12	月	振替休日	12	木	★ 足寄(公式訪問)
13	土		13	火	盆休み	13	金	★ ★
14	日		14	水	盆休み	14	土	
15	月	祝日 海の日	15	木	盆休み	15	日	
16	火	紋別港(公式訪問) ★	16	金	盆休み	16	月	祝日 敬老の日
17	水	★ 滝上(公式訪問)	17	土		17	火	★ ★7分区(仮講演)
18	木	北見・北見西・北見東 (合同例会公式訪問)	18	日		18	水	★ ★13:20~音更中
19	金		19	月	広尾(公式訪問)	19	木	★ 富良野(公式訪問)
20	土	財団委員会	20	火		20	金	★ ★
21	日	米山記念奨学会セミナー ロータリー財団セミナー	21	水	根室西(公式訪問) 釧路ベイ(公式訪問)	21	土	RAC 地区協議会(稚内)
22	月	厚岸(公式訪問) ★	22	木	釧路(公式訪問) ★	22	日	祝日 秋分の日
23	火	浜中(公式訪問) 根室(公式訪問)	23	金	白糠(公式訪問) 釧路南(公式訪問)	23	月	振替休日
24	水	斜里(公式訪問) 清里(公式訪問)	24	土	紋別RC創立70周年記念式典	24	火	★ ★
25	木	網走西(公式訪問) 網走(公式訪問)	25	日		25	水	★ ★
26	金	雄武(公式訪問) 留辺蘂(公式訪問)	26	月	美瑛(公式訪問) 旭川南(公式訪問)	26	木	清水(公式訪問) 帯広西(公式訪問)
27	土	IFMR ジャパン大会 旭川 17:30~ 旭川トーヨーホテル	27	火	旭川空港(公式訪問) 旭川西(公式訪問)	27	金	★ ★
28	日		28	水	旭川北(公式訪問) ★	28	土	
29	月	士別(公式訪問) 中頓別(公式訪問)	29	木	上川(公式訪問) ★	29	日	
30	火	名寄(公式訪問)	30	金	旭川(公式訪問) 2500E(公式訪問)	30	月	
31	水	天塩(公式訪問) 枝幸(公式訪問)	31	土				

上期行事行動表

2024年 (令和6年) 10 月			2024年 (令和6年) 11 月			2024年 (令和6年) 12 月		
1	火		1	金		1	日	
2	水		2	土		2	月	
3	木		3	日	祝日 文化の日	3	火	
4	金		4	月	振替休日	4	水	
5	土		5	火		5	木	
6	日		6	水		6	金	
7	月		7	木	ローターアクト補助金説明会	7	土	第3回地区諮問委員会(釧路) 佐渡ガバナーエレクト壮行会
8	火		8	金		8	日	米山奨学生面接(釧路)
9	水		9	土		9	月	
10	木		10	日	第1回 ロータリーリーダーシップ研究会	10	火	
11	金		11	月		11	水	
12	土	第2回地区諮問委員会 地区大会特別委員会	12	火		12	木	ロータリー研究会(横浜)
13	日	地区大会 大懇親会	13	水		13	金	ロータリー研究会(横浜)
14	月	祝日 スポーツの日	14	木		14	土	ロータリー研究会(横浜)
15	火		15	金		15	日	ロータリー研究会(横浜)
16	水		16	土		16	月	
17	木		17	日		17	火	
18	金		18	月		18	水	
19	土	網走RAC創立50周年記念式典	19	火		19	木	
20	日	地区財団中長期戦略会議・財団委員会 ロータリー財団補助金セミナー	20	水		20	金	
21	月		21	木		21	木	
22	火		22	金		22	金	
23	水		23	土	祝日 勤労感謝の日	23	土	
24	木	世界ポリオデー	24	日		24	日	
25	金		25	月		25	月	
26	土		26	火		26	火	
27	日		27	水		27	水	
28	月		28	木		28	木	
29	火		29	金		29	金	
30	水		30	土		30	土	
31	木					31	日	

2024-2025年度 RI第2500地区

2025年 (令和7年) 1 月			2025年 (令和7年) 2 月			2025年 (令和7年) 3 月		
1	水	祝日 元旦	1	土		1	土	第8分区 IM
2	木		2	日		2	日	
3	金		3	月		3	月	
4	土		4	火		4	火	
5	日		5	水		5	水	
6	月		6	木		6	木	
7	火		7	金		7	金	
8	水		8	土		8	土	第7分区 IM
9	木		9	日	国際協議会(オランダ)	9	日	
10	金		10	月	国際協議会(オランダ)	10	月	
11	土		11	火	祝日 建国記念の日 国際協議会(オランダ)	11	火	
12	日		12	水	国際協議会(オランダ)	12	水	
13	月	祝日 成人の日	13	木	国際協議会(オランダ)	13	木	
14	火		14	金		14	金	
15	水		15	土		15	土	地区チームラーニングセミナー(釧路)
16	木		16	日		16	日	第3回 ロータリーリーダーシップ研究会
17	金		17	月		17	月	
18	土		18	火		18	火	
19	日	第2回 ロータリーリーダーシップ研究会	19	水		19	水	
20	月		20	木		20	木	祝日 春分の日
21	火		21	金		21	金	
22	水		22	土		22	土	第6分区 IM
23	木		23	日	祝日 天皇誕生日	23	日	
24	金		24	月	振替休日	24	月	
25	土	稚内RAC創立50周年記念式典	25	火		25	火	
26	日		26	水		26	水	
27	月		27	木		27	木	
28	火		28	金		28	金	
29	水					29	土	帯広RC創立90周年記念式典
30	木					30	日	
31	金					31	月	

下期行事行動表

2025年 (令和7年) 4 月			2025年 (令和7年) 5 月			2025年 (令和7年) 6 月		
1	火		1	木		1	日	
2	水		2	金		2	月	
3	木		3	土	祝日 憲法記念日	3	火	
4	金		4	日	祝日 みどりの日	4	水	
5	土	第5分区 IM	5	月	祝日 こどもの日	5	木	
6	日		6	火	振替休日	6	金	
7	月		7	水		7	土	RAC 地区大会(北見)
8	火		8	木		8	日	
9	水		9	金		9	月	
10	木		10	土	LADY GO	10	火	
11	金		11	日		11	水	
12	土	会長エレクトラーニングセミナー(釧路)	12	月		12	木	
13	日	クラブリーダーシップラーニングセミナー(釧路)	13	火		13	金	
14	月		14	水		14	土	地区補助金申請会議
15	火		15	木		15	日	
16	水		16	金		16	月	
17	木	クラブ活性化セミナー	17	土	第1分区 IM 富良野RAC創立40周年記念式典	17	火	
18	金	クラブ活性化セミナー	18	日		18	水	
19	土	第3分区 IM	19	月		19	木	
20	日		20	火		20	金	
21	月		21	水		21	土	国際大会 カルガリー
22	火		22	木		22	日	国際大会 カルガリー
23	水		23	金		23	月	国際大会 カルガリー
24	木		24	土	帯広RAC創立50周年記念式典	24	火	国際大会 カルガリー
25	金		25	日		25	水	国際大会 カルガリー
26	土	RYLA セミナー	26	月		26	木	国際大会 カルガリー
27	日	RYLA セミナー	27	火		27	金	
28	月		28	水		28	土	
29	火	祝日 昭和の日	29	木		29	日	
30	水		30	金		30	月	
			31	土	第4分区 IM			

国際ロータリー第2500地区

新入会員の紹介

第6分區 帯広東ロータリークラブ

いはら しゅんや
井原 俊也

■不動産業

■1971年5月31日生 ■6月10日入会

ロータリークラブでの新たな出会いと学びが楽しみです。趣味は筋トレで健康管理を大切にしています。どうぞよろしくお願いいたします。



第8分區 根室西ロータリークラブ

さとう たけひこ
佐藤 武彦

■食品加工

■1982年12月13日生 ■6月26日入会

ロータリークラブの活動を通して成長できるように色々勉強させて頂きたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



第8分區 根室西ロータリークラブ

ともつね しんえつ
友常 慎悦

■建築資材卸

■1968年6月27日生 ■6月26日入会

ロータリーの奉仕の精神を学び、皆様と仲良く活動していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



第8分區 根室西ロータリークラブ

なりた こうじ
成田 耕二

■自動車販売

■1974年4月9日生 ■6月26日入会

この度ご縁を頂き根室西RCに入会させて頂きました。ロータリーの理念をよく理解し皆様と活動していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



第3分區 旭川ロータリークラブ

さくた きよはる
作田 清治

■食肉加工卸売

■1962年3月14日生 ■6月27日入会

海と川が大好きです。



第3分區 旭川ロータリークラブ

いの けんいち
飯野 健一

■保険一般

■1976年4月14日生 ■6月27日入会

旭川の皆さん、北海道の皆さんのお役に立てるよう、仕事もプライベートも全力で頑張ります！ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



第1分區 豊富ロータリークラブ

うえむら ひであき
植村 秀明

■養護介護施設

■1977年12月1日生 ■6月30日入会

ロータリーの活動に寄与したいと思ひますので、宜しくお願いします。



第3分區 旭川ロータリークラブ

もり ただひろ
森 禎宏

■NPO法人

■1963年2月13日生 ■6月27日入会

宜しくお願い致します。



第2分區 名寄ロータリークラブ

みね めぐみ
峯 恵

■林業

■1983年4月21日生 ■6月17日入会

このたびご縁をいただき入会いたしました。微力ながら貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第6分區 清水ロータリークラブ

まきの のりやす
牧野 詔康

■電気工事

■1953年9月11日生 ■6月1日入会

化この度清水ロータリークラブに入会させていただきました。皆さんとの交流を深め、研鑽して参りますのでよろしくお願いいたします。



第6分區 帯広北ロータリークラブ

きど かずき
木戸 和樹

■塗装業

■1992年2月15日生 ■6月6日入会

未熟者ではございますが、がんばりますのでよろしくお願いいたします。



ロータリー財団寄付者報告

第7分区 釧路南ロータリークラブ

さくま みつひろ
佐久間 光弘

寄付月日 2025年6月25日

寄付種類 PHF

物故会員

第2分区 枝幸ロータリークラブ



おかざき まさゆき
岡崎 正幸

〈飲食業〉

2025年5月31日逝去（享年73歳）

2000年 4月入会

2005年 会長

2018年 会長

2014年 ポール ハリス フェロー



例会出席率&会員数推移 2025年6月末報告

分 区	クラブ名	例会 数	出席 率 (%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼 文	2	67	13	13	0	0	0	0
	利 尻	4	59	19	19	0	0	0	0
	利 尻 島	1	65	14	14	0	1	0	0
	天 塩	3	54.5	14	15	1	2	1	0
	豊 富	4	80.5	19	20	1	1	1	0
	稚 内	3	71.9	40	38	-2	2	0	2
	稚 内 南	3	74	39	38	-1	1	0	1
	計			158	157	-1	7	2	3
2	美 深	3	75.71	29	28	-1	1	0	1
	枝 幸	3	45.3	26	25	-1	0	0	1
	名 寄	4	71.8	51	51	0	2	1	1
	中 頓 別	3	76.9	13	13	0	0	0	0
	士 別	3	84.09	42	44	2	1	2	0
	計			161	161	0	4	3	3
3	旭 川	4	66.2	83	90	7	10	10	3
	旭 川 東	2	85.71	27	26	-1	0	1	2
	旭 川 北	4	76.63	46	46	0	1	0	0
	旭 川 南	3	-	29	29	0	2	0	0
	旭 川 西	3	-	45	43	-2	5	0	2
	旭川東北	3	-	17	17	0	1	0	0
	旭川モーニング	2	-	26	24	-2	4	0	2
	旭川空港	3	92.3	13	13	0	2	0	0
	美 瑛	4	-	34	32	-2	1	0	2
	富 良 野	4	67.1	44	43	-1	3	0	1
	上 川	3	55.56	10	9	-1	1	0	1
	2500E	5	61.9	21	18	-3	3	0	3
	計			395	390	-5	33	11	16
4	遠 軽	4	66.5	45	45	0	3	0	0
	紋 別	4	62.88	35	34	-1	3	0	1
	紋 別 港	4	73.19	24	23	-1	2	0	1
	興 部	4	78.3	15	15	0	1	0	0
	雄 武	4	61.53	13	13	0	0	0	0
	滝 上	3	77.8	15	14	-1	1	0	1
	計			147	144	-3	10	0	3

分 区	クラブ名	例会 数	出席 率 (%)	会員数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網 走	3	82.05	53	53	0	6	0	0
	網 走 西	3	72.76	47	46	-1	1	0	1
	美 幌	4	84	53	51	-2	5	0	2
	北 見	4	73.31	61	61	0	7	0	0
	北 見 東	3	72.26	45	46	1	3	2	1
	北 見 西	3	80.93	67	65	-2	5	0	2
	清 里	2	86.2	29	29	0	0	0	0
	留 辺 薬	4	89.29	21	21	0	1	0	0
	斜 里	3	55.5	28	28	0	3	0	0
	計			404	400	-4	31	2	6
6	足 寄	3	66.33	28	28	0	2	0	0
	広 尾	2	55.6	18	18	0	0	0	0
	上 士 幌	3	61.9	15	15	0	0	0	0
	芽 室	3	80.9	21	21	0	1	0	0
	帯 広	4	78.6	88	85	-3	9	1	4
	帯 広 東	3	71.6	36	37	1	3	2	1
	帯 広 北	4	72.81	58	58	0	3	1	1
	帯 広 南	3	79.75	63	59	-4	8	0	4
	帯 広 西	4	61.3	84	81	-3	7	0	3
	音 更	3	70.4	42	42	0	5	0	0
	清 水	4	66.27	19	19	0	2	1	1
	計			472	463	-9	40	5	14
7	釧 路	4	72.4	104	100	-4	0	1	5
	釧 路 東	3	66	31	30	-1	0	0	1
	釧 路 北	3	75	77	77	-8	6	1	9
	(サテライト)			23	15		8		
	釧 路 南	3	70	28	27	-1	5	0	1
	釧 路 西	2	65	28	28	0	1	0	0
	釧路ベイ	3	80	18	18	0	2	0	0
	音 別	4	87	15	15	0	0	0	0
	白 糠	4	81.8	11	11	0	1	0	0
	計			335	321	-14	23	2	16
8	厚 岸	3	77	13	13	0	0	0	0
	浜 中	4	78	10	10	0	0	0	0
	中 標 津	3	40.4	52	50	-2	4	0	2
	根 室	3	64.64	33	33	0	0	0	0
	根 室 西	3	75	46	47	1	1	3	2
	弟 子 屈	2	100	17	16	-1	1	0	1
	計			171	169	-2	6	3	5
	総 計			2243	2205	-38	154	28	66

第 2500 地区	前月末 会員数	当月末 会員数	増 減	平均出席率
	2243	2205	-38	71.95
女性会員数	154	154	0	



佐渡ガバナーと共に
第1回公式訪問 2025年7月10日(木)
帯広西ロータリークラブにて

1年間大変お世話になり
ありがとうございました
小谷 典之





Rotary

2024-2025年度
国際ロータリー第2500地区

■ガバナー事務所

〒080-2470 帯広市西20条南5丁目13-3
TEL.0155-65-0357 FAX.0155-65-0358
E-mail : ri2500governor@clock.ocn.ne.jp



webサイト

■Governor Office

13-3, Minami 5-chome, Nishi 20-jo, Obihiro
080-2470, Japan
Phone: +81-155-65-0357
Fax: +81-155-65-0358
E-mail : ri2500governor@clock.ocn.ne.jp



facebook